

2013年 10月7日
株式会社朝日ネット

Press Release

立命館大学に 教育支援システム「manaba（マナバ）」を全学導入

株式会社朝日ネット（東証一部、本社：東京都中央区、代表取締役社長：土方次郎）は、立命館大学にクラウド型教育支援システム「manaba（マナバ）」を全ての学部を導入いただきました。

立命館大学では、予習・復習や講義の補足など、授業を支援する授業支援システムとして「manaba（マナバ）」を全学部・全研究科の教員、学生（約4万名）に提供し、活用しています。「manaba（マナバ）」は、必要な機能に絞ったシンプルなインターフェイスになっており、教員・学生共に簡単に利用できるという点で採用いただきました。



教育支援システム「マナバ」

「マナバ」は、日米を中心に200以上の教育機関で利用されています。



「マナバ」とは、「シンプル・かんたん・そして安心」をコンセプトに朝日ネットが企画・開発を行い、インターネット上に学びの場を提供するクラウドサービスです。「マナバ」はインターネット環境を活用することで、時間や場所を選ばず効果的な学習環境を構築いたします。

<http://manaba.jp/>

「manaba(マナバ)」導入の背景と目的

「manaba(マナバ)」によって実現される学生の主体的な学び:

立命館大学では、授業の予習・復習など授業外学習の促進や、学生とのコミュニケーションツール・フィードバックツールとして、学習管理システム(LMS: Learning Management System)を利用し、その取り組みの拡大を目指してきました。一方で、一般的にLMSは操作に習熟を要することから、利用率の向上が課題となっていました。

そこで、教員・学生にとって簡単で利用しやすいこと、授業を支援する機能が兼ね備えられていること、サポート対応や開発要望に対してのレスポンスが早いことを選定理由に、2013年度より新しい授業支援システムとして「manaba(マナバ)」を導入いただきました。

「manaba(マナバ)」は、小テスト・アンケート・レポート等の課題出題や成績評価、教材の提示、教員と学生あるいは学生同士のコミュニケーションに加えて、グループ学習や PBL (Project Based Learning)などの学生の協同学習を支援する機能も活用することにより、多様な授業を支援することができます。

また、大学生活を通じて学んだ履歴をポートフォリオへ蓄積していくことで、学生は自身の学びの過程を可視化することができます。

今後は、簡単で誰でも利用できるという点を活かし、授業内外での活用シーンを拡大していくことにより、大学全体での活用率を向上させ、学生の主体的な学びの実現を目指します。

立命館大学 概要

学校名: 立命館大学

URL: <http://www.ritsumei.jp/>

設立: 明治 33(1900)年

所在地: 京都府京都市中京区西ノ京朱雀町 1 番地

学生数: 35,204 人(2013 年 5 月 1 日現在)(大学院含む)



<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 経営企画室 TEL 03-3569-3835

<商品・システムに関するお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 営業二部 TEL 03-3569-3010